

水本広  
高松潤



巡查／堂崎彰男  
桜木信介



水本満江  
田上唯



堂崎ハル  
津田真澄



助産婦／産婆  
佐野美幸



銅打弥助  
山崎秀樹



山口由信  
五十嵐明



銅打みね子  
柳下季里



山口キヨ／おばさん  
遠藤好



三浦泰一郎／高谷藤雄(声)  
山賀教弘



三浦ヤエ  
角田萌果



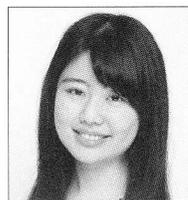
三浦ツイ／高谷藤雄の母(声)  
山本与志恵



中川庄治  
前田聖太



石原継夫  
逢笠恵祐



ツル子  
田邊稚菜



福永亜矢  
小暮智美

一九四五年八月八日・長崎

# 明日

劇団青年座  
第237回公演

原作＝井上光晴  
脚色＝小松幹生  
演出＝鈴木完一郎  
演出補＝山本龍二

美術＝柴田秀子  
照明＝中川隆一  
音楽＝樋口康雄  
音響＝高橋巖  
衣裳＝溝口貴之  
舞台監督＝尾花真  
製作＝森正敏、長尾敦  
宣伝美術＝早川さよ子

1945年8月8日・長崎。うだるような暑さの中、三浦家では泰一郎、ツイ夫妻の次女ヤエと製鋼所の工員中川庄治の婚礼が行われようとしていた。空襲警報が日々の習慣の中、人々は若い二人の門出を祝おうと集った。仲人役の助産婦。市電の運転手・水本広と妻満江。刑務所に収監されている堂崎彰男の妻でヤエの叔母ハル。新郎庄治の義父で元コック、今は写真で生計を立てている銅打弥助と後妻みね子。暗い情欲に突き動かされ娼家を彷徨う石原継夫。ヤエと大学付属医院看護婦養成所の同期生福永亜矢。それぞれが事情を抱えながらも生きている。口之津の病院から娘の身柄取り取りを告げられた山口由信と妻キヨも又そうだった。それでも人々は「明日」を信じて懸命に生きていた。一方、ヤエの姉ツル子は臨月を迎え、陣痛に耐えながら初めての子の誕生を待っている。8月9日早朝、晴れた朝の空気が明るく響く。そして柱時計はコツコツ時を刻み、11時2分に向かって進んでいくのだった。

昭和が平成になった1989年初演。昭和の悲劇を忘れさせたくなかった。そして、平成が令和にかわった2019年、青年座は再び『明日』を立ち上げる。広島、長崎、そして福島を風化させてはならない、という祈りを込めて。

## 2019年7月10日[水]ー17日[水] 東京芸術劇場シアターイースト

〒171-0021 東京都豊島区西池袋 1-8-1 TEL03-5391-2111(代)

	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日
	水	木	金	土	日	祝	火	水
14:00		●		●	●	★		●
19:00	●	●	●		●		●	

※★＝終演後、アフタートーク開催。(詳細はHPにて) ※受付開始は開演の45分前・開場は30分前

●入場料[全席指定] 前売＝5,000円／当日＝5,500円／U25(25歳以下)＝3,500円※／U18(18歳以下)＝2,000円※ [※青年座のみ取扱い・当日受付精算のみ・身分証提示]

●前売開始＝5月23日(木)

●チケット取扱い 劇団青年座＝0120-291-481(チケット専用 11:00～18:00 土日祝除く)

青年座 HP＝<http://seinenza.com> ★チケットお申込みフォームはこちら→

東京芸術劇場ボックスオフィス TEL0570-010-296(休館日を除く10:00～19:00)

<http://www.geigeki.jp/t/>(PC) <http://www.geigeki.jp/i/t/>(携帯)

電子チケットぴあ＝0570-02-9999【Pコード＝492-517】

ローソンチケット＝0570-084-003【Lコード＝32553】

0570-000-407(オペレーター対応 10:00～20:00)

イープラス＝<http://eplus.jp>

●お問い合わせ 劇団青年座

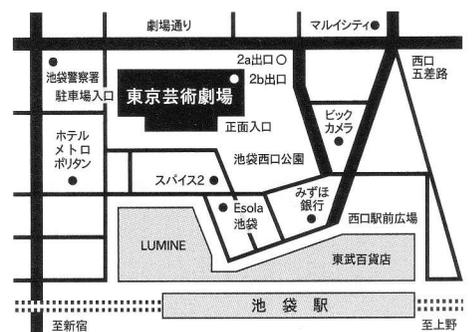
〒151-0063 東京都渋谷区富ヶ谷 1-53-12

TEL03-5478-8571 FAX03-3465-0335

E-mail [info@seinenza.com](mailto:info@seinenza.com)

<http://seinenza.com>

青年座ツイッター @seinenza



JR・東京メトロ・東武東上線・西武池袋線 池袋駅西口より徒歩2分。駅地下通路2b出口と直結。